

授業と評価の年間計画

教科	理数	科目	理数数学 I
使用教科書（発行所）	数学 I（数研出版）		
履修条件 対象生徒	必修 理数科 1年		
学習目標	数と式、集合と命題、2次関数、図形と計量、データの分析、式と証明、複素数と方程式について理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、数学を活用して事象を論理的に考察する力を養う。数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度を育む。		
学習方法	授業を集中して受けることが大切である。授業を真剣に聞き、理解できない所はすぐ先生に質問して解決しよう。1時間で進む内容は、教科書2～4ページ程度である。予習をし、分からなかった所をチェックしておき、授業で解決する。そして、その日のうちに習った内容を本当に理解できているか復習することが大切である。		
学習計画 と ねらい	<p>1学期</p> <p>[数学 I]</p> <p>第1章 数と式</p> <p>第1節 式の計算</p> <p>第2節 実数</p> <p>第3節 1次不等式</p> <p>第2章 集合と命題</p> <p>第3章 2次関数</p> <p>第1節 2次関数とグラフ</p> <p>第2節 2次方程式と2次不等式</p> <p>[数学 A]</p> <p>第1章 場合の数と確率</p> <p>第1節 場合の数</p> <p>第2節 確率</p> <p>2学期</p> <p>[数学 I]</p> <p>第4章 図形と計量</p> <p>第1節 三角比</p> <p>第2節 三角形への応用</p> <p>第5章 データの分析</p> <p>[数学 A]</p> <p>第2章 図形の性質</p> <p>第1節 平面図形</p> <p>第2節 空間図形</p>	<ul style="list-style-type: none"> 数を実数まで拡張する意義や乗法公式及び因数分解の公式を理解するとともに、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりできるようにする。不等式の性質を基に1次不等式を解く方法を考察し、事象を数学的に捉え、問題解決に活用できるようにする。 集合と命題に関する基本的な概念を理解して、論理的に考察し、簡単な命題を証明することができるようにする。 2次関数の値の変化やグラフの特徴、グラフと2次方程式・2次不等式の関係を理解するとともに、事象を数学的に捉え問題を解決したり、他の事象との関係を考察したりできるようにする。 場合の数を求めるときの基本的な考え方や確率についての理解を深め、それらを用いて多面的に考察できるようにする。 三角比の意味やその基本的な性質、三角比を用いた計量方法を理解し、事象を数学的に捉え問題を解決したり、他の事象との関係を考察したりできるようにする。 統計の基本的な知識及び技能を身に付けるとともに、データを収集して分析を行い、傾向を把握して事象の特徴を表現できるようにする。 平面図形や空間図形の性質についての理解を深め、その性質について論理的に考察したり説明したりできるようにする。 	
評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	<p>数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。</p> <p>事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。</p>	<p>数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。</p>	<p>数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとし、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりしようとしている。</p> <p>問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしていたりしている。</p>
評価方法	学習への取組状況や定期考査などの結果を総合的に判断して評価する。		
その他			